

新型コロナウイルス感染症に対応した基礎体験活動実施にあたってのガイドライン

《チェックリスト》

事業所とその関係者並びに参加学生への感染を防止するために、その実施にあたって学生一人ひとりが適切な対応をとれるよう下記のガイドラインを策定しました。各学生は、これらの事項について留意するようお願いします。

- 活動の2週間程度前から毎朝検温し（健康管理センターから連絡のあった「健康日記」もしくは「自己健康管理票」に記録する）、風邪症状の有無を確認するとともに、感染リスクの高い場所へ行く機会を減らす
- 37.5度以上の発熱が認められた場合は活動に参加せず、熱が下がったとしても2週間程度は自宅待機する
- 37.5度以上の発熱がない場合であっても、風邪症状や体調不良（倦怠感や息苦しさ等）を感じる場合は活動に参加しない
- 日頃から十分な睡眠や栄養バランスのとれた規則正しい食事に心がける
- 3つの条件（密閉・密室・密接）が同時に重なる場を避ける（活動中の食事の際には、2メートル間隔を空け、一方向を向いて食べる等感染防止対策を講じる）
- 活動前後に手洗い・うがいを必ず行い、活動中はマスクを着用し咳エチケットを徹底する
- 友人や家族等の感染が確認される場合や、本人が濃厚接触者に特定された場合、感染者と最後に濃厚接触した日から起算して2週間は活動に参加しない
- 感染者が確認されている国や地域に滞在した場合、2週間程度自宅待機し、健康状態に問題がなければ活動に参加する
- 活動中は受入先である事業所の感染症対策の指示に従い、活動中に発熱の風邪症やその他の体調不良がみられる場合には、事業所と相談のうえ、参加者等との接触は絶対に避け自宅で待機する

※体調不良や欠席等、連絡が必要な場合は、教育支援センター（Tel 0852-32-9836）に早めに連絡をください。